

平成30年2月定例記者会見要旨（平成30年2月1日開催）

## 1. 今年一年の抱負を漢字1文字であらわすと何か、またその理由は

今年の漢字は「周」である。「周」には、「めぐる、繰り返す、すみずみまで行き渡る」という意味があるが、坂出市は今年、瀬戸大橋開通30周年、サウサリート市姉妹都市提携30周年、また坂出港開港70周年という記念すべき年にあたる。めぐり繰り返す中で、「温故知新」となる一年にしたい。

また「周」には、「すみずみまで行き渡る」という意味もある。昨年から、市民のみなさん一人ひとりが、いきいきと健やかで幸せに暮らせるよう、「健幸のまちづくり」を推進してきた。この事業が、さらに広がりを見せるようにという意味も込めて今年の漢字を「周」とした。

## 2. 3月に府中湖で開催される海外派遣選手選考会兼府中湖レガッタでのドーピング問題の対策について

カヌーの国内トップ選手がライバルの飲料に禁止薬物を混入させた妨害行為問題で日本カヌー連盟は、1月11日に開催された常任理事会で選手へのサポートと再発防止策を講じることとし、対応策として3月に開催する府中湖での海外派遣選手選考会での「ドリンク保管所の設置」の方針をまとめた。

また1月29日に、連盟役員らが、府中湖を現地確認し、設置場所等について確認を行ったところである。

対策の内容としては

1. 新たにプレハブ倉庫を研修センター、スロープ東側に設置
2. ドリンクの保管が必要な選手はゼッケンをつけて持参したドリンクを監視員に渡し、監視員はゼッケンと同じ番号のシールをボトルに貼り、競技期間中保管。
3. 引き取りはゼッケンをつけて監視委員から保管所前で受け取る。
4. 保管所内に監視カメラを設置。
5. 保管所は、競技開始30分前から競技終了後30分の間使用可。

というものである。

監視カメラ、プレハブ倉庫、ボトル用シールは日本カヌー連盟が、また備品である机、椅子、電源等は開催地である香川県協会が負担する。

ドーピング問題発覚後、最初の大会が府中湖で開催されることとなることから、心配していたが、連盟と、手順を十分に打ち合せし、二度とこのような事件が起きないように、協力したい。